

												(別添資料1)			
事業所名		児童発達支援・放課後等デイサービス ぶらすこ				支援プログラム (児童発達支援)				作成日		2025 年	1 月	25 日	
法人 (事業所) 理念		「ともになまび ともにそだつ」をテーマに子どもたち、保護者、地域社会、そして職員がともに学び合い、成長し合う場を目指します。すべての子どもたちが安心して自分らしさを発揮できる環境の中で、未来に向けた豊かな土台を築いていきます。													
支援方針		子どもたち一人ひとりの個性や特性を理解し、支援する私たち自身も学び続ける姿勢を大切にします。子どもの小さな成長をともに喜び合い、安心して遊び学び、自ら挑戦できる環境を整備します。信頼関係を基盤に、子どもたちの自己肯定感を高めるサポートを行います。													
営業時間		9 時		0 分から		18 時		0 分まで		送迎実施の有無		あり	なし		
支 援 内 容															
本人支援	健康・生活	子どもが日常生活を安全かつ健康的に過ごせるよう支援を行います。食事、排せつ、清潔保持など、基本的な生活習慣の定着を目指します。													
	運動・感覚	身体の基本的な運動能力や感覚統合の発達を促進する活動を取り入れます。例えば、体を動かす遊びやストレッチ、バランスをとる運動を通じて身体機能の向上を支援します。また、感覚過敏や鈍麻に配慮した活動を行い、適切な刺激を与えることで感覚の安定化を目指します。													
	認知・行動	個々の念地機能や行動特性に応じた支援を行います。記憶や注意力、問題解決能力を高める活動を行い、状況に応じた適切な行動が取れるようサポートします。また、落ち着いた環境の提供やルール・順番を学ぶ場を設け、自立性を育みます。													
	言語コミュニケーション	子どもが自分の気持ちや考えを適切に表現し、周囲と意思疎通ができるように支援します。言語発達の遅れがある場合には、簡単な単語やフレーズから始めて表現力を育てます。また、視覚支援やジェスチャー、ピクチャーなどを用いて非言語的なコミュニケーション方法も含めた支援を行います。会話のキャッチボールを楽しむ活動や、相手の話を聞く力を伸ばす練習も取り入れます。													
	人間関係社会性	子どもが他者と良好な関係を築けるよう、社会性の向上を目指した支援を行います。友だちや大人との関わり方を学ぶため、集団活動や遊びを通じて、協力する力やルールを物る力、相手の気持ちを考える力を育みます。トラブルが起きた際には、適切に対応する方法を練習し、自己主張と譲歩のバランスを学びます。さらに、地域や社会とのつながりを意識した活動も取り入れることで、幅広い社会性を身につけられるよう支援します。													
家族支援		・保護者面談や来所時での様子、活動について随時情報を共有する機会を持ち総合的に支援を行います。 ・関係者、関係機関との連携による支援体制を構築します。				移行支援		・子どものニーズに基づいた一貫性のある支援を提供し、各利用先での支援が効果的に行われることを目指します。							
地域支援・地域連携		・関係機関と密接な情報共有を行い、子どもの状況に応じた柔軟で効果的な支援を進め、凍もの自己肯定感を高めます。				職員の質の向上		・定期的な研修を実施する。 ・業務を評価し、フィードバックすることで不足点を改善し、支援の質を高めます。							
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> ・季節のイベント (ひな祭り、お花見、夏祭りごっこ、ハロウィン、クリスマス、お正月、初詣、節分など) ・戸外活動 (公共施設、商業施設、地域イベントなど) ・体験活動 (陶芸など) 													